

シニア診療に力を入りたい獣医師のための

症例から学ぶ老齢獣医学 ケースカンファレンス

老齢動物のための専門医療の必要性

- Season3 -

老年獣医学とは、老齢動物の健康維持を主目的とし、疾患や障害の適切な治療・予防を研究する専門領域です。2014年に実施された平均寿命の調査では、過去25年間で犬は1.5倍、猫は2.3倍に伸びたと報告されていることから、今後は高齢期医療をとらえた獣医師の存在が重要になると考えられます。

日々の診療においても、老齢個体が若年個体と異なった特徴を示すことが多く、早期の適切な診断と治療が予後に大きな影響を与えます。老齢動物においても彼らのQOLを向上し、維持してあげることは獣医師の責務であると考えられます。

老齢動物の特殊性に対応する臨床獣医師を目指して

本プログラムでは、老齢動物の特殊性に対応するため、各診療科のエキスパートを交えながら実際の症例を検討し、学習します。各専門領域における老齢動物の好発疾患や多疾患の合併、症状の非定型や無症状、疾病の慢性化など、老齢期に多く認められる疾患の病態とその症状を、実際の症例をもとに検討会形式で学習します。

こんな先生におすすめ

- ・犬・猫の老齢性疾患に対応できる獣医師でありたい
- ・各症例についての見解と具体的な対処法を学びたい
- ・老齢動物疾患の診断ポイントやケア、診察など各分野の専門家の意見を知りたい
- ・自分自身の経験を超え、診療を向上させるための学習機会の場が欲しい

オンライン型
リアルタイム
症例検討会

WEB会議アプリ「Zoom」使用

第1回

皮膚

2021年1月26日(火)
19:30~21:30(受付開始19:00)

- ・老齢個体によくみられるニキビダニ症(犬)
- ・老齢個体によくみられる扁平上皮がん(猫)
- ・老齢個体によくみられる皮膚型リンパ腫(犬)



講師:

島崎 洋太郎 Yotaro Shimazaki
東京農工大学動物医療センター皮膚科
アジア獣医皮膚科専門医レジデント
課程修了

第2回

眼

2021年2月9日(火)
19:30~21:30(受付開始19:00)

- ・老齢猫にみられる高血圧性網膜症
- ・老齢犬にみられる角膜変性症
- ・老齢犬にみられる白内障



講師:

前原 誠也 Seiya Maehara
酪農学園大学獣医学群獣医学類 准教授
アジア獣医眼科学会専門医
比較眼科学会専門医

第3回

泌尿器

2021年2月22日(月)
19:30~21:30(受付開始19:00)

- ・老齢猫によくみられる慢性腎臓病の症例
- ・老齢犬によくみられる膀胱腫瘍の症例
- ・老齢犬によくみられる前立腺腫瘍の症例



講師:

岩井 聡美 Satomi Iwai
博士(獣医学)、北里大学獣医学部
獣医学科小動物第2外科 准教授
日本獣医腎泌尿器学会理事

オンライン症例検討会のポイント

- ・PC、スマホ、タブレットさえあればどこでも受講可能
自宅や勤務先など移動時間なしでご受講できます。
※PCの場合はインターネット環境が必要です。(Wi-Fi環境推奨)

- ・チャット機能でリアルタイム意見交換
顔出し不要で症例検討に参加できます。

- ・Q&A機能でリアルタイムの質問が可能
質問をピックアップし、講師が回答します。



お1人様1端末(PC、スマートフォン、タブレット)をご用意ください

対象

獣医師

定員

各回30名

受講料

全3回セット価格
12,000円(税込)単日価格
4,500円(税込)

お申込方法

QRコードからアクセスし、お申込みください。
クレジットカード決済・コンビニ決済・ペイジー決済可能



サポート講師:

井坂 光宏 Mitsuhiro Isaka

酪農学園大学准教授(伴侶動物医療学部)、動物医療センター
整形外科診療科長、医学博士、日本獣医循環器学会認定医
アジア獣医内科学(循環器)専門医